

## 企画提案書

## 1 業務に対する基本姿勢

気運醸成事業を実施するに当たり、どのように区民の文化芸術への理解を促進するとともに、福祉等他分野や地域資源との関係性構築につなげていくか、港区文化芸術振興プランや文化芸術ホールの重点的取組の趣旨を踏まえ、基本的な姿勢や考え方を述べてください。

港区文化振興プランでは、「多様な文化が共生し、文化芸術を通じて皆の幸せをめざす、世界に開かれた文化の港」という将来像が打ち出されています。今回新設される芸術文化ホールは、このイメージを体現する、港区初の本格的な芸術文化施設となります。

本提案においては、「芸術文化を通じて共生社会を実現する」という港区の文化ビジョンに寄り添いながら、新設されるホールの存在を周知し、その活動の一旦を先取りして発信する事業を提案いたします。

事業実施にあたっては、以下の4つの点を基本方針とし、業務にあたります。

1) 区民への広い周知を図る

文化芸術ホールが全ての区民に愛される施設となることを目標とし、まずはその存在を広く周知するため、積極的かつ複合的な広報活動を展開します。また本事業を通じて、一人でも多くの区民が本ホールに関心を持ち、自らの当事者性を持って参加できる下地づくりを行います。

さらに全ての区民が参加できるよう、バリアフリー・アクセシビリティの向上に努めます。

2) 「共生社会の実現」に向けたテーマ設定

港区の文化ビジョンの根幹である「共生社会の実現」を強く意識したテーマで、シンポジウムを開催します。特に、コロナ禍という困難な時代において、生きづらさを抱える人たちにも寄り添い、いかに共生社会を芸術文化の力によって実現できるのか、専門家を交えて議論を行います。またシンポジウムと並行して関連ワークショップも開催して体験を深めます。

3) アソシエート・リサーチャーを起用した、課題の可視化

港区の社会課題を顕在化し、それを芸術文化ホールでの企画へと展開するため、アソシエート・リサーチャーを5名程度募集し、彼らとともに勉強会を定期的で開催します。勉強会での成果はホームページ等でも公開され、今後ホールの開設まで継続的に発展させていきます。

4) 区内の関係団体との関係構築

すでに港区に多数存在する文化団体や研究機関、福祉施設等地域資源との関係性を構築します。具体的には事前のリサーチ時に港区内で活動する関係団体にコンタクトをとり、シンポジウムおよびワークショップ開催時にはその代表者やスタッフを積極的に招待し、関係性の構築に努めます。また港区が令和3年度まで実施してきた港区ならではの文化プログラムで培われたさまざまなレガシー（多様性を認め合う価値観や伝統、人材、知恵等）を継承し、文化芸術ホールにつなぐ役割を果たします。

※ A4サイズで片面1枚としてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。

## 企画提案書

## 2 事業の企画・実施

事業内容について、以下の項目について詳細を企画提案してください。(仕様書参照)

## (1) シンポジウム及びワークショップの企画・運営

(テーマ、内容、出演者、スケジュール、期待される効果 等)

## (2) リサーチの企画・運営

(リサーチャーの募集・選考方法、勉強会の内容、出演者、スケジュール、期待される効果 等)

## (3) 魅力的な事業となるための工夫や、貴社(者)の強みを事業に生かす上でのアイディア

## (1)シンポジウム及びワークショップの企画・運営

## 【テーマ】共生社会と創造性をめぐって(仮)

コロナ禍は、すべての人が潜在的に病人、弱者になりえるということを改めて人類に突きつけると同時に、社会の至るところでケアを担ってきた人たち、医療従事者やケア労働者、ヤングケアラーといった人々の存在を顕在化しました。ケアを他者に一方的にアウトソースするのではなく、相互にケアしあう共生社会とはどのようなものでしょうか。コロナ以後に目指すべき共生社会の形と、そこで可能なアートの役割について、事例を交えて議論します。

## 【講師／登壇者(案)】

、港区の社会福祉士や団体の方々

【ワークショップ】 上記登壇者を含めた専門家を交え、アートとケアをめぐる対話型のワークショップを開催。参加者は港区民を優先的に案内する。

## (2)リサーチの企画・運営

・アソシエート・リサーチャーの募集:港区内をフィールドにリサーチをし、その成果を特設サイトに蓄積していくリサーチャーを一般から5名程度募集する。

## 【スケジュール案】

7月 アソシエート・リサーチャーの募集開始

8月 アソシエート・リサーチャー決定(5名程度を想定)

9月～1月 月1回程度の事前勉強会を実施@リアル・オンライン

1月9ないし10日 シンポジウムおよびワークショップ実施@赤坂区民センター

2月末まで シンポジウムおよびWSのレポートを港区サイトで公開

## (3)魅力的な事業となるための工夫や、貴社(者)の強みを事業に生かす上でのアイディア

・弊社は国内外で多数の芸術文化事業の企画・制作・広報実績を有しております。本事業の実施にあたってはそのノウハウを活用し、紙媒体、電子媒体、マスメディア等を媒介とした複合的な広報を展開します。

・また本事業が一回きりのイベントではなく、芸術文化ホールの開館に向けた持続的な機運醸成の起点となるよう、映像およびテキストにてレポートを作成し、今後どなたにでも閲覧していただける形として公開します。

・バリアフリー・アクセシビリティ向上に配慮した、周知・受付方法等を徹底します。

※A4サイズで片面1枚としてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。